

## 鳥取市議会福祉保健委員会会議録

会議年月日	令和3年11月24日（水曜日）		
開 会	午前10時22分	閉 会	午前10時48分
場 所	市役所本庁舎7階 第1委員会室		
出席委員 (8名)	委員 長 椋田 昇一 副委員 長 浅野 博文 委 員 金田 靖典、加藤 茂樹、足立 考史 魚崎 勇、上田 孝春、寺坂 寛夫		
欠席委員	なし		
委員外議員	荻野 正己、雲坂 衛		
事務局職員	庶務係主幹 石田久美子	議事係主任	萩原真智子
出席説明員	【健康こども部】 健康こども部長 橋本 浩之 鳥取市保健所長 長井 大 保健所副所長兼保健総務課長 竹内 一敏 保健総務課課長補佐 加藤 るつ 保健所次長兼保健医療課長 大塚 月子 保健医療課参事 橋本 涉 保健医療課参事 稲田すなお 保健医療課課長補佐 濱田 寿之		
傍 聴 者	なし		
会議に付した事件	別紙のとおり		

午前10時22分 開会

### 【健康こども部】

◆椋田昇一委員長 ただいまから福祉保健委員会を開催します。

本日は健康こども部の議案説明、議案審査、報告という流れとしておりますのでよろしくお願ひします。それではまず橋本健康こども部長に御挨拶をいただきます。

○橋本浩之健康こども部長 おはようございます。健康こども部の橋本でございます。健康こども部に関わる今臨時議会の案件につきましては議案が1件、報告が1件でございます。議案第140号令和3年度鳥取市一般会計補正予算の内容といたしましては、新型コロナウイルスワクチンの追加接種の体制確保の経費といたしまして2億2,806万9,000円の増額補正を提案しております。また、報告第21号専決処分事項の報告につきましては、公用車の事故に関わる報告でございます。詳細につきましては担当課より御説明申し上げますのでよろしくお願い申し上げます。以上です。

議案第140号令和3年度鳥取市一般会計補正予算（第9号）のうち所管に属する部分（説明・

質疑・討論・採決)

◆**棕田昇一委員長** それでは議案第140号令和3年度鳥取市一般会計補正予算のうち、本委員会の所管に属する部分の説明をお願いします。稲田参事。

○**稲田すなお保健医療課参事** はい。保健医療課稲田でございます。一般会計補正予算について説明資料の3ページと4ページ、あと事業別概要書の7ページ、一般会計補正予算書については16ページ、17ページを基に説明をさせていただきます。新型コロナウイルスワクチン接種の追加接種に係る補正でございます。現在2回のワクチン接種が実施されておりますが、海外の状況であるとか、ワクチンの効果の持続期間の治験を踏まえて追加接種、3回目接種を実施することとなりました。追加接種の開始日は12月1日でございます。対象者は2回目から8か月を経過した18歳以上の方、任意でございます。使用するワクチンにつきましては、現在は追加接種のワクチンとして薬事承認されているファイザー社製ワクチンを使用いたします。1回目、2回目接種と同様に個別医療機関、そして、集団接種会場での接種の機会を確保いたします。今年度3回、3月までの対象となる方につきましては主に医療従事者、高齢者の方、事業別概要書の事業の内容の中に、11月10日現在2回目接種をされた方を13万6,403名としておりますが、このうち今年度中に追加接種をされる方は約5万6,000人を想定しています。

説明資料の3ページを御覧ください。歳入として2億2,806万9,000円を補正いたしました。内訳は国庫負担金、これは接種費用が対象となります。国庫補助金は対象者への接種券の送付であるとか、集団接種会場の設営と接種体制の確保に対する経費が対象となります。雑入は先ほど質疑のほうでもありましたが、集団接種会場で鳥取市に住民票のない方が接種された場合、他市町村から支払いを受ける接種費用を見込んでおります。4ページには歳出として同額を計上しております。この歳出の内訳ですが、予算書の17ページを御覧ください。質疑でも答弁させていただいたので重ねての説明となりますが、まず、集団接種会場に従事する医療従事者への報酬が1,734万8,000円、それで、役務費ですね、1,687万8,000円は接種券の発送に係る郵送料であるとか、折り込みチラシ等、住民の方へ向けた広報に係る経費、集団接種会場の派遣職員とか、手話通訳者の方、そういった方の派遣に係る経費などを見込んでおります。委託料の1億7,298万円につきましてはコールセンター業務であるとか、接種券の印刷発送、また、集団接種会場の設営に係る経費の8,844万7,000円、今年度中に請求されるであろう接種費用2万5,900人分として626万7,000円などが主なものとしております。これらは全て全額公費負担でございます。

以上で説明を終わらせていただきます。

◆**棕田昇一委員長** はい、御説明いただきました。それでは議案第140号令和3年度鳥取市一般会計補正予算のうち、本委員会の所管に属する部分の質疑を行ないます。本案について委員の皆様から質疑ございますか。金田委員。

◆**金田靖典委員** 先ほどの質疑の中でね、インフルエンザとの関係が出ていたと思ったんですけども、その辺り個別接種が主体ですから、多分医療機関のほうでの対応に委ねるしかないかなと思ってるんで、その辺はどのように考えておられるか教えてください。

◆**棕田昇一委員長** 稲田参事。

- 稲田すなお保健医療課参事 はい。保健医療課稲田でございます。委員の質問はインフルエンザが個別接種、個別医療機関で開始されるので、はい。進行中でございます、現在は、はい。
- ◆椋田昇一委員長 すみません。ちょっと金田委員もう1回ちょっと質問させていただいて、そして答弁をいただこうと思いますので、じゃあ、金田委員。
- ◆金田靖典委員 インフルエンザの接種が言われたようにもう10月から始まっていますね、その辺りでは医療機関が、これも個別接種になるわけですが、インフルエンザの予防接種も動いている、片方ではこれも動き出すということでの対応についてはどのように考えておられるのかなということをお聞きしたかったです。
- ◆椋田昇一委員長 稲田参事。
- 稲田すなお保健医療課参事 はい。保健医療課稲田でございます。先ほど質疑でも答弁させていただきましたが、インフルエンザにつきましては大体1月までにほとんどの方が終わられると思われまして、今回の追加接種につきましては12月、1月が医療従事者の方がほぼ対象であり、高齢者とか住民さんは2月中旬から開始されると思われるので重なることはありませんので、その部分については十分な体制が取れるかと思っております。以上です。
- ◆椋田昇一委員長 金田委員よろしいですか。はい、金田委員。
- ◆金田靖典委員 すみません。1、2回もファイザーだったのですかね。1、2回もファイザーだったということですよ。今回も、3回目もファイザーを使われるということですよ。
- ◆椋田昇一委員長 もう1回ちょっとその辺り、じゃあ、答弁の中で、はい、稲田参事。
- 稲田すなお保健医療課参事 はい。保健医療課稲田でございます。はい。個別医療機関につきましては1回目、2回目もファイザー社製のワクチンを使っておりました。経営会場とか職域接種についてだけ、モデルナを使っておりました。ですので、今回もまず薬事承認されたのはファイザー社製でありますので、まずは12月1日からはファイザー社製のワクチンを使って接種を開始いたします。以上です。
- ◆金田靖典委員 はい。ありがとうございました。
- ◆椋田昇一委員長 はい、そのほか、委員の方で質疑ございますか。魚崎委員。
- ◆魚崎 勇委員 はい。今のワクチンがファイザー製だということだったんですけど、モデルナを職域でされたということなんですけど、例えばそのモデルナ打たれてる方がファイザーを打つということになると混合というか、今、言われておるように違ったワクチンを打たれるわけなんですけど、その点についての、大丈夫だという見解は聞いているんですけど、鳥取市としては、それは安全であるというふうにお考えられているのかどうか、その点をお聞きしたいです。
- ◆椋田昇一委員長 稲田参事。
- 稲田すなお保健医療課参事 はい。保健医療課稲田でございます。ワクチンの接種につきましては国のほうが1回目、2回目に用いたワクチンの種類にかかわらずメッセンジャーRNAワクチン、ファイザーとモデルナを用いることが考えられる、考えられるというか大丈夫だということをおっしゃるので、鳥取市につきましても希望があればメッセンジャーRNAの中で接種を受けていただくことは可能かと思っております。以上です。混合接種、はい。なので、1回目、2回目と異なるワクチンを使用することも可能だというふうに国が示しておりますの

で、鳥取市もそこに準じて希望される方に希望されるワクチンの接種をというふうを考えております。

◆**棕田昇一委員長** はい、魚崎委員。

◆**魚崎 勇委員** 国のほうでは、同一より混合のほうが効果が高いというふうな見解を私は聞いたんですけども、あえて同じでなくて違ったのを打ってくださってという希望者に対しては対応できるかどうかということをお聞きします。

◆**棕田昇一委員長** 稲田参事。

○**稲田すなお保健医療課参事** はい。保健医療課稲田でございます。違ったワクチン交接種をしたら効果が高いというようなことを今、委員がおっしゃられましたが、そこについても引き続き科学的知見を収集していくというふうに国は言っておりますので、今の段階でその効果が高いとか低いとかっていう限定されたようなことはないので、あくまでも希望されるワクチンを接種していただく、希望された方というふうに考えております。以上です。

◆**棕田昇一委員長** 魚崎委員。

◆**魚崎 勇委員** ちょっと僕の見解が違うかもしれませんが、職域でモデルナを打たれて、今度3回目ファイザーですよ、そしたら当然混合になるわけですよ。ですよ。だけえ、その効果が今後国によって検証されるということですけども、例えば初めファイザー打たれて、また3回目ファイザー打たれる方と違ってきて、今後ですよ、今後、効果に差が出てきますということになった場合に、また何か対策は国かもしれませんが、考えられるという準備というか、国の指示なんでしょうけども、それに効果の差に対する手当というのは何か考えられるつもりはあるのでしょうか。

◆**棕田昇一委員長** 稲田参事。

○**稲田すなお保健医療課参事** はい。保健医療課稲田でございます。交接種をするか、単一のワクチンで接種するかっていうところの効果の差というのが、今、先ほども申し上げたように明確には出ておりませんので、もし、今の段階で差が出た場合というようなことは鳥取市としても考えておりませんし、国のほうからも指示がございませんので、また明らかにそういったところがありまして国から指示が出ましたら、そこに準じた、そこに沿った対応の仕方をしようと思っております。以上です。

◆**棕田昇一委員長** そのほか委員の方でございますか。はい、足立委員。

◆**足立考史委員** 足立です。1日の接種人数、予定されてるのは、1回目、2回目が会場によっては人数制限があつて締め切られたと記憶しているんですけど、この3回目はその人数、受入れ人数等々の変更はあるのかお聞きします。

◆**棕田昇一委員長** 稲田参事。

○**稲田すなお保健医療課参事** はい。3回目接種の会場の人数の、収容できる、接種していただける人数とかのお話ですが、そこにつきましては8か月を経過した方に、段階的に接種券を送ってその方たちに予約を取っていただく、個別か、集団の。それで、その8か月を経過された方というのは鳥取市のほうが、人数が把握できておりますので、2回目を接種して8か月を経過する方で、それで、その対象人数に合わせて集団の規模も柔軟に決めて、受けられない人が

ないように、希望される方には受けていただけるように対応はするように考えております。以上です。

◆**椋田昇一委員長** 足立委員。

◆**足立考史委員** はい。受けれる体制ということですが、30分ごとで接種予約というのがあったと思うんですけど、その30分の間に何人っていう制限が増えるのか、同じなのかの質問なんですけど、お願いできますか。

◆**椋田昇一委員長** 稲田参事。

○**稲田すなお保健医療課参事** はい。現在、集団接種会場では1つのレーンで、30分で約12名の方を接種させていただいております。それで、12名で必要に応じてレーンを増やす、レーンを減らすというようなことで1日に接種できる人数を決めております。基本は30分12名、1レーン30分12名で向かっていこうと思っております。はい、以上です。

◆**椋田昇一委員長** そのほか、はい、寺坂委員。

◆**寺坂寛夫委員** はい。3回目の接種についても接種券ですね、接種券のほう当然配布されると思いますけどね。この5月、6月のこの今年の方、例えば周辺の八頭町とかはもう連休前から接種券どんどん発行されて、それで鳥取市の場合は連休後に届いたということがあって、かなりの件数で発行が大変だと思いますけどね、やはり連休前からやっとなる町のほう、近隣の麒麟のまち圏域、かなり何千人と、岩美町や八頭町、若桜町、智頭町、鳥取市の個人院でされとるという、この前、報告がありましたけどね、東部広域の関係で、麒麟のまち圏域の関係でね。その辺の関係あるんで、例えば2月末から3月頃するというのが、また2か月ぐらいつれるんじゃないかなという気がしましてね。8か月以上なるとまた9か月、10か月。例えば接種券の発行がどのようになるのか、その辺がね。やはり繰越し当然されるでしょうけど、この予算で、この6,000人分ですか、何千人か何万人か分かりませんが、またその辺がずれ込むような感じがあるんですけど、その体制、接種券と調整をちょっと、できるだけ8か月期限があるようなんですけど、その辺の考えもあるんで、10か月经過後に打つと大分違うでしょうし、その辺も手続きはどのように、発行予定とかされているのか、調整、各麒麟のまち圏域の調整とか、その辺はどのようになってるのかちょっとお尋ねします。

◆**椋田昇一委員長** 稲田参事。

○**稲田すなお保健医療課参事** はい。保健医療課稲田でございます。住民さんに向けての接種券の発送につきましては、2回目接種完了から8か月が到来する月の前月末までに配達完了するように、対象となる月の前月の下旬にはもう発送するようにさせていただきますので、8か月を迎えて9か月、10か月にならないと接種券が届かないというようなことにはならないように、あくまでも8か月を到来する前の月の月末までにはお手元に接種券が届くように発送計画をさせていただきます。以上です。

◆**椋田昇一委員長** 寺坂委員。

◆**寺坂寛夫委員** はい。できるだけ早くというのは言いますが、やはり来てから、来ない間からもう予約するというのはなかなかあれでしょうしね、接種券もないのに。そういうこともあるんで、この前の2か月遅れみたいな感じがあったもんですからね、個人院の関係でいっぱい

ですと、待ちましようかっていう格好が、多くの方がかなりずれたということは言うておられましたんでね、できるだけ早い段階での、大変ですけどその辺の発行のほうもよろしくお願ひしたいと思います。

◆**棕田昇一委員長** 稲田参事。

○**稲田すなお保健医療課参事** はい。すみません。先ほどの質問に対してですが、今回の補正については繰越しがございません。今年度の費用だけを計上しております。当初はまた当初で改めて予算計上させていただきます。あと、麒麟のまちのお話がありましたが、麒麟圏域の打合せ会とかにつきましては今月中に予定をしております、その中で麒麟のまち圏域の市町村と十分に話をした上で、お互いそれぞれ市町村が十分に住民さんに向けて接種ができるように体制を整えていきたいと思っております。以上です。

◆**棕田昇一委員長** そのほか委員の方で質疑ございますか。よろしいですか。はい。以上で質疑を終了します。

討論はございますか。

（「なし」と呼ぶ者あり）

◆**棕田昇一委員長** はい。討論なしと認め討論を終結します。

これより議案第140号令和3年度鳥取市一般会計補正予算のうち、本委員会の所管に属する部分を採決します。本案に対し賛成の方は挙手をお願いします。

〔賛成者挙手〕

◆**棕田昇一委員長** はい。挙手全員と認め本案は原案のとおり可決すべきものと決定されました。

#### 報告第21号専決処分事項の報告について（説明・質疑）

◆**棕田昇一委員長** それでは引き続きまして報告第21号専決処分事項の報告についての説明をお願いします。竹内副所長。

○**竹内一敏保健所副所長兼保健総務課長** はい。保健総務課竹内です。議案書の7ページと委員会資料の5ページ、最後のページをお開きください。委員会資料のほうで説明をさせていただきます。損害賠償の額及び和解について10月8日に専決処分を行いましたので報告をさせていただきます。公用車の事故でございますが、事故の発生は本年8月27日の午後1時半頃です。事故の場所はアパホテル鳥取駅前敷地内でございます。最初に5番の状況ですけども、公用車をアパホテル敷地内の駐車場に駐車するために後退、バックしたところ、公用車の後ろ部分が物置倉庫の側面に当たって倉庫の側面を破損させたものでございます。3番に戻りまして相手側ですけども、アパホテル鳥取駅前の物置倉庫右側角の付近がへこみました。本市側ですけども、破損状況として公用車の後方ステップ右側部分がへこんでおります。運転していたのは保健総務課の職員でございます。損害賠償の額につきましては修理費4万4,000円で既に修繕を行いました。和解を行いました。公用車の運転につきましては普段から安全運転に努めておるんでございますけども、このたびこういうふうになりまして申し訳ありません。再度改めて安全運転の徹底に努めていきたいと思っております。以上で報告終わります。

◆**棕田昇一委員長** 御説明いただきましたが、委員の皆様から質疑等ございますか。足立委員。

- ◆足立考史委員 車にバックモニターがなかったのかということと、公用車を出動させるときは複数で出動ではないかと思うんですが、このときは単独だったのか。それで、複数の場合もう一方の安全確認等々どうされてたのか、以上お聞きします。
- ◆棕田昇一委員長 竹内副所長。
- 竹内一敏保健所副所長兼保健総務課長 保健総務課竹内です。この車にはバックモニターはございません。はい。それから当日は複数の職員でした。2名の職員でしたけども、そのまま乗車のままでございまして、降りてバックの確認ということはありませんでした。
- ◆棕田昇一委員長 安全確認をするようになっていないんじゃないかというような趣旨でしたけど、その辺りについてはいかがなんでしょう。
- 竹内一敏保健所副所長兼保健総務課長 保健総務課竹内です。はい。安全確認、当然でございますが、はい。当日は降りずにそのまま乗った状態であってということでございます。はい。
- ◆棕田昇一委員長 足立委員。
- ◆足立考史委員 該当する課だけではなく、庁舎内全部ですけど、何度もこういう単純な事故が多いので、複数の意味をもっとしっかり認識してもらって、無駄な出費がないようにお願いしたいと思います。以上です。
- ◆棕田昇一委員長 今、足立委員のほうからありましたように、これはこの件だけじゃないってことです。また、橋本部長からでも全庁的にそのような対応をいただくように福祉保健委員会で委員から声が出ていたということは伝えてください。そのほかございますか。魚崎委員。
- ◆魚崎 勇委員 アパホテルさんに後方で駐車ということなんですけど、これ、どんな業務でこのアパホテルさんに行かれたんでしょうか。
- ◆棕田昇一委員長 竹内副所長。
- 竹内一敏保健所副所長兼保健総務課長 はい。保健総務課竹内です。はい。業務内容についてですけども、関係先に御迷惑をおかけする恐れがありますので御回答はすみません、差し控えさせていただきます。
- ◆棕田昇一委員長 魚崎委員。
- ◆魚崎 勇委員 はい。分かりました。
- ◆棕田昇一委員長 そのほかございますか。はい、では以上をもちまして福祉保健委員会を終了します。どうもお疲れさまでした。

午前10時48分 閉会

# 令和3年第6回臨時会 福祉保健委員会

(議案説明・審査、報告)

日 時：令和3年11月24日(水)

本会議休憩中

場 所：本庁舎7階第1委員会室

## 健康こども部

### 1 議案【説明・質疑・討論・採決】

- ・議案第140号 令和3年度鳥取市一般会計補正予算(第9号)【所管に属する部分】

### 2 報告

- ・報告第21号 専決処分事項の報告について(保健総務課)